

## ➤ 視点 コスト縮減・代替案の可能性

～新工法の採用～

鋼矢板の自走式打設



従来工法(仮設構台)



従来工法に比べ、仮設工費を大幅に削減(狭隘地)

…経済性76%向上、工期53%短縮(国土交通省NETISより)

18

## まとめ

視点 社会経済情勢等

- ・地盤沈下の進行により、自然排水が困難
- ・市街化の進行に伴い、浸水時の災害危険度が増大

視点 事業の投資効果

- ・費用対効果  $B/C = 1.33 > 1$
- ・時間雨量  $90\text{mm/h}(1/30)$  の治水安全度を確保

視点 事業の進捗状況

- ・事業進捗率 = 62.6%
- ・A、Cゾーンの整備完了済。

視点 コスト縮減・代替案の可能性

- ・新工法の採用により工事費・工期を縮減

視点 その他

- ・地元から早期改修完了の要望

事業を「継続」し、早期に事業完了を図る。

19

## 再評価実施事業調書

番号		事業名	地盤沈下対策事業		路線又は箇所名等		(一)利根川水系境川	
事業所管課		河川環境課		事業主体		千葉県		
事業化年度	平成 4 年度	用地着手年度	-	工事着手年度	平成 4 年度	再評価の理由		
				工事終了(認可)年度	平成 25 年度			
費用便益比 B / C	1.33	総費用	37.4 億円	総便益	49.8 億円	基準年	平成 18 年度	

## 【事業概要】

境川の流域は、昭和 40 年代からの著しい地盤沈下に伴い堤内地盤高が水面下となっており、自然排水が困難なことから、内水排除不良による浸水被害が発生している。それらに対処すべく、狭窄部の河川改修及び河川の管理水位を低下させることによる治水対策を講じるものである。

事業計画区間長 1,335m

護岸工 1,335m 掘削工 8,000m<sup>3</sup> 用地 1,795m<sup>2</sup> 橋梁 3 橋

## 【事業の進捗状況】

	全体計画 (億円)	投資事業費 (億円)	進捗率 (%)
全体	33.0	6.03	18.3
工事	20.1	6.03	30.0
用地	12.9	0.0	0.0

## 【社会経済情勢等】

## 流域状況

境川は、千葉県浦安市の旧江戸川より分流し、浦安市旧市街地を貫流しながら市街地内の雨水排水を集め、東京湾に流入する流域面積 0.59km<sup>2</sup>、流路延長 1.7km (境川西水門～東水門) の一級河川である。

流域ではかつて地盤沈下が著しかったことから堤内地盤が低く、市街地内の雨水を自然排水することが困難なため、浦安市設置による内水排除ポンプに頼っている現状であり、近年多発している集中的な豪雨により浸水被害が度々発生している。

## 主な水害状況

昭和 56 年 10 月 浸水戸数 668 戸、浸水面積 22.0ha

平成元年 8 月 浸水戸数 48 戸、浸水面積 2.0ha

平成 3 年 9 月 浸水戸数 13 戸、浸水面積 1.2ha

## 投資効果

浸水家屋 1,133 戸 浸水面積 15ha

## その他

関連事業 : 浦安市土地区画整理事業

## 【対応方針(案)】

## 継続

境川の改修により、市街化の著しい当該地区において、概ね 30 年に一度発生する規模の洪水に対する治水安全度の向上が図られる。

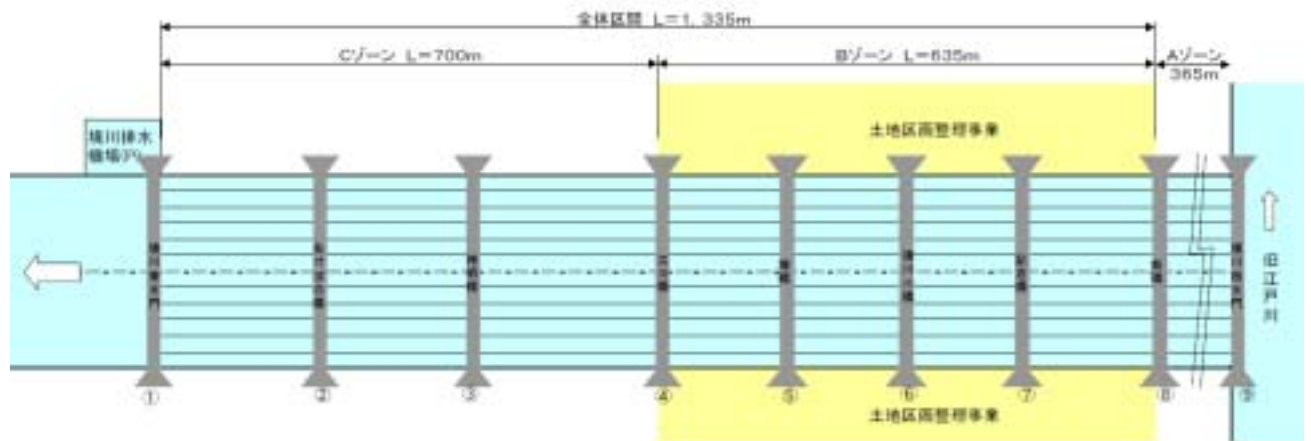
事業の投資効果は高いことから、護岸構造の見直し等によるコスト縮減にも取組みつつ事業を継続とし、平成 25 年度の事業終了に努める。

【別紙様式 4】

事業概要図

番号	事業名	地盤沈下対策事業	路線又は箇所名等	(一)利根川水系 境川
----	-----	----------	----------	-------------

【計画平面図】



【代表断面図】

